

あきる野市



町内会・自治会 連合会 会報

発行者／小山 正弘
編集／あきる野市
町内会・自治会連合会
広報部会

町自連



58

令和6年冬季号

第58号

防犯は、地域の繋がり——町内会・自治会の加入は対策のひとつ

産業祭——風船やグッズでピーアール

11月9日、10日に秋留台公園にて「産業祭」が実施されました。町自連では昨年同様にブースを設置しアピール活動を行いました。来場者へ風船やグッズを資料とともに手渡ししながら広報活動を行いました。その場での加入申し込みもありました。町自連を少しでも知ってもらえたらと思えました。役員の交流にも良い時間となりました。



今年の5月の土曜日、快晴の日に山手線を原宿駅で下車して竹下通りというところに生まれて初めて行ってきました。

竹下通りにあるビルの2階の喫茶店にちょっと用事があっただけなんですけどね。

駅を出て、「竹下通り」という看板を見つけ、さあ行こう、と思ったのですが、ちょっと足がすくみました。なんか別世界の雰囲気です。そこにいる混み合っている多くの人たちを見て。でも頑張って足を踏み入れました。目的のビルはすぐに見つかったのですが、時間があるので、社会見学に少し先まで行ってみることにしました。しかし、行けども行けども違和感だらけ、居心地の悪さといったらないのです。

いやになり、5分ほど歩いて引き返し目的のビルに行きました。外階

竹下通りデビュー

町自連会長 小山正弘



世の動きに合わせて
変わらないうと
町自連も生きていけない

よ!」・・・(そんなデカイ図体なんかどこにもいなかったよ)と思いながら、はっと気が付きました。胸のポケットに入れているスマホのレンズを外に向けて歩いていました。これは私の癖です。

しょうがないので、スマホ

段を上がって行くと、誰も人がいません。ホッとしながら喫茶店のドアに手をかけると、後ろから「ちょっと待て」と野太い声。

振り返ると、190センチ程の身長で、タトゥーだらけの丸太のような腕、ドラム缶のような胴体の、安岡力也風の大男でした。この人も原宿には似合わないなという印象です。

どすの利いた声で「あんた写真を撮ってたろ」と言われ、「撮ってないですよ」と応えると、「ずっと見てたんだ

にある写真を見せて、もう一度「撮ってませんよ」と言うと、「すみません」と言ってサッと消えてしまいました。消える姿はちょっとかわいかった。

「あの人は原宿のなんなのだろう」「もし、写真を撮っていたらどうなっていたんだろう」「街中を動画に撮る人がいるのかな」「それがゆすりのネタになっちゃうんだ」「二度と来る場所じゃないな」「何が楽しくてここに人が集まるんだろう」「こんな場所があるんだ」などと、色々なことを考えました。

時代は変わったんだなあ、とつくづく思った時間でした。66年も生きていくばかりだなあ、とも思います。スマホの操作など娘に聞かないとわからないことだらけです。

昔は良かったと思ってみても、何も始まらない、今の時代を受け入れなければ、生きていけないなと思われた20分間でした。

そしてもちろん、スマホのレンズが見えないように胸のポケットに入れる癖をつける訓練をしています。



二宮神社秋季例大祭

わっしょい、わっしょい!

9月9日月曜日、二宮神社の秋季例大祭が威勢の良い掛け声と共に執り行われました。

二宮神社は、祭神へ子持ちの里芋や葉根付きの生姜(多くの水を必要とする作物)、牛の舌の形をした餅(牛のよだれを雨に見立てている)など雨を祈願するものが供えられます。この祭りは神事後、境内に厄除け生姜の店が立ち並ぶことから、いつの間にか『しょうがまつり』と呼ばれるようになったそうです。最近では生姜を売る店の数は少なくなり、あっという間に売り切れてしまいます。雨どいの祭りですが、今年は晴天となり多くの人で賑わいました。

小川東町内会会長
菊池常広



正一位岩走神社例大祭

300年以上続く 歴史あるお祭りです。

9月15日日曜日、正一位岩走神社の例大祭が厳しい残暑を吹き飛ばすように、元気いっぱい開催されました。



神社神輿に御神体がお入りになり、神社を出発します。渡御行列は先頭に先祓い鉾4本、12基の町内神輿の後ろに木遣音頭を唄いながら獅子頭が2頭続き、太鼓車、神社神輿が町内を連なって巡行します。山車は各所で奉納囃子を披露し、渡御を盛り立て見守ります。各地区の御飯屋では、地域の平安を祈念し宮司が祝詞をあげ、厳かに神事が行われます。

日常とは違うお祭りムードに盛り上がる中にも、神聖で厳格な部分もある例大祭となりました。

中平自治会長 安部光記

阿伎留神社の例大祭

多くの人で賑わった五日市の夜

阿伎留神社の例大祭は例年通り9月28日(土)から30日(月)までの3日間行なわれました。神輿や山車が檜原街道を往来し、囃子の音が聴こえ、五日市の街は多くの人で賑わいました。夜は檜原街道が歩行者天国になったことから、多くの人出となりました。特に最終日の夜、神輿が宮入する前の五日市出張所前交差点は多くの人で埋めつくされました。

なお、今年は祭り初日の夜に花火があがりましたが、これは8月31日のヨルイチで予定していた花火が台風で中止となったことから、ヨルイチ実行委員会で検討し、祭りで活用したものです。

深沢自治会 下野吉夫



コミュニティ事業の活用状況

増戸地区山田下分自治会 「ミニフェスティバル」

新規事業や交流イベントなどで資金調達に悩んでいたが活用を考えてみてはいかがでしょうか。

増戸地区山田下分自治会では「ミニフェスティバル」としてティーボール大会を、実施し、世代間の交流と、自



治会未加入者にもお知らせを配布し気軽に参加してもらうようにしました。

参加者: 大人106名、子供23名、末就学17名、スタッフ10名、総勢156名での催しとなりました。

山田下分自治会長
師岡栄二

